

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 給与見直しについて

交渉日時 令和4年7月1日(金) 16時～17時40分
交渉場所 水道庁舎3階 大会議室
交渉出席者 当局側 川口副市長 秋元市長公室長 雲丹亀市長公室副部長 西川人事課長
大槻人事課副課長 足立人事研修係長 加島給与係長
組合側 福田執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等

概要	給与見直しに関する交渉を行った
組合の主張	<ul style="list-style-type: none">① 昨年10月に提起して以降、組合からの指摘を受け、今回修正案を提示してきたが、この案でも府内トップ水準といえるのか。② 当局は5級主任を廃止することとしているが、今後は、新たに5級ポストを積極的に作る意思はあるのか。③ 当局は、均衡の原則を強調して見直しを迫っているが、それだけでなく、生計費原則を重視すべき。若い世代の職員の年収が30～40万円も減少するのはあまりにも酷である。④ 定年引上げの制度設計については、細部まで組合と協議しながら進めていくという認識でよいか。
当局の主張	<ul style="list-style-type: none">① 仮に今回の修正案による見直しを実施したとしても、京都府を除く府内14市においても、トップ水準になるものと考えている。② 各職場の実態を改めて見ていく中で、係長に相当するような職があるかという点で検討していくが、あくまでも管理運営事項として人事当局として判断するものである。③ 生計費の原則を軽んじている訳ではない。一方で、職員の給与水準は国や他の自治体等の状況を考慮せざるをえない。④ まずは大枠として条例を整備する必要があるため、その部分についてはできるだけ早急に合意が得られるように進めたい。条例に拠らない運用面については、引き続き組合と協議していきたい。